

# 東京浅草中央ロータリークラブ

【週報】平成18年5月10日発信

第987回例会 第973号

会長:中村 義英 副会長:長沼 一雄 幹事:片岡 邦夫 会報委員長:藤野 勝彦

## <2005-2006年度テーマ>

・超私の奉仕 ・超私の奉仕 ・20周年を迎えて、更に大きく『愛』の輪を	RI会長 カール・ウィルヘルム・ステンハマー 2580地区ガバナー 古宮 誠一 クラブ会長 中村 義英
今日の卓話 「アルミの話」 元軽金属製品協会 顧問 三田 郁夫 様 紹介者：上原 洋一 君	◎次回卓話予定(5月17日) 「食環境を考える」 食工房・ミイロ フードコーディネーター 代表 高井 瑞枝 様 紹介者：原田 毅 君

## <5月の卓話予定表>

5月3日	休日(祭日)		
10日	「アルミの話」	元軽金属製品協会	顧問 三田 郁夫 様
17日	「食環境を考える」	フードコーディネーター 食工房・ミイロ	代表 高井 瑞枝 様
24日	夜間例会	「癒しの瞑想」 ストラ鑑定学「南の会」代表	南 水蓮 様
31日	「福祉と宗教」	淑徳大学学長・立正大学名誉教授	長谷川匡俊 様

## 【平成18年4月26日 第986例会の記録】

### 【会長報告】<中村会長>

ハリウッドスターのメル ギブソンがロータリー財団を通して昨年のハリケーン被害者に100万ドルの寄付をしたそうです。ロータリー財団を知ったのは親戚に大変立派なロータリアンがいるので、その団体に任せれば間違いないと思ったからだそうです。遠いアメリカの話ですが、この報道にロータリアンの原点を見たような気がします。

### 【幹事報告】<片岡幹事>

地区ロータリー財団委員会より、ロータリーカード申込みのお願いがきております。Rotary Int'L Master Cardで皆様がカードを利用されることで自動的に財団に寄付される仕組みになっております。ご希望の方は資料が事務所にございます。東京リバーサイドロータリークラブから例会臨時変更のお知らせがきております。

### 【委員会報告】

#### 【青少年交換派遣予定留学生】長島奨子君

Bonjour! こんにちは。フランス予定派遣生の長島奨子です。今、学校や日仏学院でフランス語を勉強しています。出発前には皆さんにフランス語で1年間の抱負を言える位に成っていたら良いなと思います。5月には2回の“お茶”の他に鎌倉遠足と三社祭があります。三社祭は行ったことがないので楽しみにしています。

### 【国際奉仕委員会報告】<遠藤道雄委員長>

第2580地区・国際奉仕委員会調査報告(2003年3月調査)

#### <地区72クラブの各委員会設置状況>

ロータリー財団	米山奨学記念	青少年交換	世界社会奉仕	対人地雷	世界大会	国際奉仕プロジェクト
委員会有り	同左	同左	同左	同左	出席予定	活動有り
70/72	70/72	53/72	48/72	5/72	30/72	38/72
97.20%	97.20%	73.60%	66.70%	6.90%	41.70%	52.80%

### 例会出席報告

### 会員出席率

来訪者数	例会出席報告	会員出席率
ゲスト2名 ビジター 2名	第986例会	総数49名, 出席35名, 欠席11名, 出席率 76.09%
	第984例会	修正変更/3名欠席 出席率93.48%(休会1名・免除2名)

## ニコニコボックス

### ■上原君

本日、卓話をさせていただき藤江陽江様をご紹介します。

### ■遠藤・藤田・太田・中村・原田・長堀・吉田・井田君

藤井先生、本日の卓話を楽しみにしております。

### ■斉藤君

藤井先生、昨年立教大学箱根駅伝応援プロジェクトの会で、昭島へ予選会応援に行った時、前夜の懇親会で息子・家内が大変お世話になりありがとうございます。

### ■片岡君

井田さん、昨日はすみませんでした。永井さん、先週の例会は幹事役ありがとうございました。

### ■折原君

浅草のお寺マップできました。中村会長ありがとう。

### ■小林博君

24回目の結婚記念日のお花を戴き有難うございました。

### ■今年度・来年度プログラム委員会

昨晚のプログラム委員会の引継ぎの残金をニコニコします。

### ■本年度SAA一同

新旧SAA引継ぎを4月19日(水)無事に終了しました。来年もビューホテルさんにお世話になります。鈴木総支配人、格段のご配慮を次年度にも宜しくお願いします。

### ■天笠君

結婚記念日の花を有難うございます。すっかり忘れて中国の東莞に工場視察に行きました。帰宅したら『シッカリとRCにお礼を言うように』と妻に言われました。

### ■宮村君

昨日は2回目のクリスマスのビューホテル宿泊券を二女に使わせました。鈴木さん三女も居ますので、次回のクリスマス会も宜しくお願いします。岡崎さん手続きありがとうございます。

## 【卓話】

### 「超我の奉仕を元氣から」

立教大学コミュニティ福祉学部

非常勤講師 藤井陽江様



本日のテーマ「超我の奉仕も元氣から」の設定に当たり、ロータリークラブに対する理解が、今まで見聞きした私の浅い印象のまま、本日の卓話に望む訳にはいかぬと思い、インターネットで検索しました。ロータリー精神の具体化を象徴する5文字「超我の奉仕」に触れ、その志の質の高さに衝撃を受け、感動しました。この感動を本日のテーマと絡ませて、お話を進めて行きたいと思います。

昨今のニュースは、心痛む凄ましい事件が氾濫する報道ばかりで活き活きた「感動」に出会う機会に恵まれません。感動は、人が生き甲斐を感じて生きる原動力であり、生命の躍動を実感します。感動なき暮らしは人間性の欠如といえましょう。三菱総合研究所による感動頻度の調査では、10代、20代の世代でも2人に1人は「1ヶ月に一度も感動していない」、50代、60代では、3人に2人は「1ヶ月に1度も感動していない」と言われます。（「感動力」平野秀典（株）ゴマブックス参照）

「人の一生は感動の追及にあり」と考えると、ロータリー精神真髓の活動は、人間を人間たらしめる「感動」を生み出す偉大な活動クラブであり、本日この席の皆さんは素敵に幸福なことに羨ましく思います。

さて「超我の奉仕も元氣から」の元氣は、中国養生法「気功」に関する言葉です。東洋思想、特に中国では、森羅万象全てのもは「氣」から生じているという考え方があります。「氣」については非常に時間を要しますので、ここでは簡潔な理解として「氣とは生き物の体の中を巡っている、生命活動をなり立たせる必須エネルギー」と解釈されています。生活の中で鍛錬し獲得できる後天的な氣と、各人が生まれながらに持っている先天的な元の氣があり、元氣とは先天的「氣」のことです。血管や神経経路に関係深い巡り方をしています。気功は氣の巡りを良くし、元氣を充実させる練習・訓練を言います。

体の何処かに「氣」が滞ると元氣が無くなり、心身の調子が崩れたり、病気を呼び起こすこととなります。この状態は感動を覚えぬ暮らしが続くことで、元氣が停滞し生活に張りがない半健康人となることによく似ています。

ドイツの心理学者カール・ピューラーは「人間はもともと持っている機能を使えば使うほど喜びを覚える。機能が発揮されないと、心や身体が病む」といいます。人は感動すると生きている証しを実感し、良く生きようとする姿勢を人間の機能として備えている、と考えると「元氣」や「感動」の価値をおろそかにできないものです。

歪を生じた現代社会は、政治・経済・地域社会に多くの課題を残しますが、全ての基盤は人の健康にあります。時間的、経済的に社会の悪しき煽動に迷わされず、個人のレベルで心身の調整をはかり、己の本来性、潜在能力・創造性の豊かさを信じて、元氣の充実と感動を求めての旅に出掛けましょう。その方策として「元氣」と関係深い「呼吸運動のひととき」をプリントにて提供させていただきます。そして易しい気功を卓話の中で皆さんと実践してみましよう。